

1 あなたがこれまでに学習したこと又は研究した内容などを書いてください。受験する試験区分に関係するものがある場合は、そのことを中心に書いてください。

主張：私は、再生可能エネルギー政策についてのゼミへ入り、ゼミ長を務め、エネルギー政策の研究だけでなく、全体をまとめるという役割の大変さについて学ぶことができました。

具体例：全体で20人弱の小規模なゼミでしたが、各人の個性がある中でディベート役割分担を決めること、教授とのパイプ役など、目に見えない仕事を多くこなしました。

再主張：物事を円滑に進めるには陰で努力する人がいること、見えない努力が潜んでいることを知ることができました。

2 あなたがこれまで力を入れて取り組んだことについて、取組期間も含めて書いてください。（3つ以内・箇条書き）

何でもいいです。自分の人生経験に基づき、自分を表現できる経験を適当に書けばOK。

①

②

③

3 これまで取り組んだことのうち、成果や達成感を得た経験（1つ）について、あなた自身の行動を中心に具体的に書いてください。

主張：私は中学生から大学まで、〇〇（スポーツ名）を続けており、継続して努力することの大切さを学びました。

具体例：中学ではやっとなスタメン、高校でも県予選止まりだった自分ですが、大学入学後は誰よりも遅くまで練習し、休みの日も自主練習に励みました。その結果、関東ブロックの学生選抜に選ばれることができました。

再主張：この経験から、継続して努力することで、いつかは必ず花が咲くということを学ぶことができました。仕事をしていく上でも粘り強く努力して、自己のスキルを高めていけると思っています（⇒再主張）

4 東京都を志望した理由について書いてください。

主張（理由）：私は東京都を今よりもさらに素晴らしい地域にして、未来のこどもたちの希望の地域にしたいと思っています

具体例：昨年参加したインターンシップにおいて、都の職員さんから都の取り組みについて話を聞く機会があり、都の先進的な取り組みや姿勢に驚きました。

再主張：私は地方出身ですが、私のような地方のこどもたちが希望を持って訪れてくれる、魅力であふれる街にしたいと思っています。

5 東京都に採用されたらやってみたいことについて、具体的に書いてください

主張：私は、東京都に採用されたら、都民の障害福祉への理解を深めていく取り組みを進めたいと思っています。

理 由：私には障害を持つ兄弟がおり、この経験を最も生かすことができるのは地方公共団体だと考えるからです。

具体例：東京都では独自に「ヘルプマーク」の普及啓発を行っています。私の兄弟は外見上、障害がわからないため、この「ヘルプマーク」を付けることで、内部障害があることがわかるので、周囲の人が助けてくれるようになりました。

反論理解：都の職員の仕事は、障害福祉以外にもたくさんあることは理解しています。福祉以外の経験もきちんと踏むことは、地方公務員としてのキャリア、業務への理解を深める上で必須だと考えています。

再主張：しかし、自分の実体験をフルに活かせるのは障害福祉だと思っていますので、障害福祉に関する業務に携わりたいという気持ちが一番です。